

はじめに

2013年に「教えて！ICU 集中治療に強くなる」のPart1を出してから、2015年にPart2、そして今回Part3を出すことができました。医学書の中では同じシリーズで3冊目が出るということは比較的まれでして、これも読者の皆さまが「わかりやすい」と応援してくださる賜物です。そして「教科書に載っていない、でも日頃気になっているアレ」を解説するという本書のコンセプトは成功とでもいいでしょう。ちなみに本書はPart1から順番ではなく、どのPartから手にとっていただいても大丈夫なので、気軽に読んでいただければと思います。

集中治療医学は専門分野でありながら、専門はありません。どんな診療科の疾患も相手にしますし、どんな手術の術後にも対応しますし、あらゆる機器や薬剤を駆使します。患者さんの頭から足の先まで見ます。口腔から消化管の中も診ますし、頭蓋内、胸腔、腹腔だけでなく、後腹膜腔まで…。要するに全部です。したがって本書の内容も多岐に渡っており、一貫性がないと言われてしまうかもしれませんが、そこはご容赦ください。集中治療医学の扱う幅はとてとても広いのです。

そんな幅広い分野である集中治療医学の疑問点をできるかぎりわかりやすく執筆しました。わかっていないことは、こじつけずに正直にわからないと書いてあります。また時にわかりやすく書きすぎると本質を見失ってしまうこともあるのですが、そこは本質を見失わないように注意しています。ぜひ研修の合間に、当直中のちょっとした時間に、カフェで待ち合わせの時間までに本書を読んでいただければと思います。机に座って構えて読む本ではありませんし、蛍光マーカーは不要です。お気軽にICUの世界を巡ってみてください。

最後に執筆の機会を与えてくださり，終始励ましのお言葉をいただいた羊土社編集部の保坂早苗氏，林 理香氏ならびにスタッフの皆さまに心よりお礼申し上げます。

2017年8月

朝日も夕日も見えなくなった新病院のICU医局にてビル群を眺めながら

さいたま赤十字病院 高度救命救急センター

早川 桂